

主題：
ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 1

ローマ人への手紙第5章から第8章における命の路線と死の路線

聖書：ローマ5:10, 12, 14, 17-18, 21. 6:4, 9, 16, 21-23. 7:5, 10, 13, 24. 8:2, 6, 10-11, 38-39

I. ローマ書第5章から第8章は聖書の核心と呼ぶことができ、その主題全体を具体的、かつ詳細に示しています：

- A. これら二つのかぎとなる言葉（「死」と「命」）は、ローマ書第5章から第8章において繰り返し述べられています。命（5:10, 17-18, 21. 6:4, 22-23. 7:10. 8:2, 6, 10-11, 38-39）と死（5:12, 14, 17, 21. 6:9, 16, 21, 23. 7:5, 10, 13, 24. 8:2, 6, 38）は、第5章から第8章で、命の路線と死の路線という二つの対照的な路線を形成していません。
- B. これは、人が、神とサタン、すなわち、命と死の三角の状況の中で、その中心にいることを示しています。アダムは命である神を表す命の木を捨てて、死の源であるサタンを表徴する知識の木を追い求めました——創2:8-9, 17. 3:1-7。
- C. 命の木は人を神に依存させますが（ヨハネ15:5）、知識の木は人を神に反逆させ、神から独立させます（参照、創3:5）。
- D. ローマ書第5章の「違反」（14節）、「違犯」（15-18, 20節）、不従順（19節）はみなアダムの墮落に言及しており、それは彼が命を離れて、死を選択したことにあります（参照、申30:19-20）。
- E. キリストご自身は神の命、永遠の命です（ヨハネ14:6前半. 11:25. Iヨハネ1:2）。彼が来たのは、わたしたちが命を得、しかも豊かに得るためです（ヨハネ10:10後半）。彼は命を解き放つ死を遂げて、命を分与する復活の中へと入り（12:24）、命の霊の法則である（ローマ8:2）命を与える霊と成って（Iコリント15:45後半）、わたしたちの霊、わたしたちの思い、わたしたちの死ぬべき体に命を与えるのは、わたしたちが命によって飲み尽くされるためです（10, 6, 11節. IIコリント5:4）。
- F. 命の木と知識の木（死の木）は二つの路線（命の路線と死の路線）という結果になり、全聖書を貫いており、啓示録で終わります。命は命の木で始まり（創2:9）、命の木と命の光（啓21:23. 22:5）と命の栄光（21:10-11, 23）を伴う命の水の都である新エルサレムで終わります（22:1-2）。死は知識の木で始まり（創2:17）、火の池で終わります（啓20:10, 14）：
 1. 聖書の核心とは、キリストが命としてわたしたちの中へと啓示されることであり（ガラテヤ1:15-16前半. ローマ8:10）、わたしたちが、神聖な命であるキリストによって生き（存在を持ち）、生存することです（ピリピ1:19-21前半. ヨハネ6:57, 63）。また、神はわたしたちが神の御子のかたちと同形化される（ローマ8:28-29）という願いをもってわたしたちをキリストの中へと入れましたが

(Ⅰコリント1:30)、それはわたしたちがキリストのかたちへと造り変えられて(Ⅱコリント3:18)、キリストと徹底的に一になるためです。このようにして、わたしたちは彼の栄光のため、わたしたちの栄光化のために、キリストを内容とし、キリストを表現するキリストの生けるからだとして共に建造されます(8-11節。4:6-7。エペソ3:21前半。ピリピ3:21。ヨハネ17:1, 4-5, 10, 22-24。啓21:10-11, 23)。

2. 主を信じることは命である彼を受け入れることであり、主を愛することは命である彼を享受すること、まさにわたしたちが受け入れたパーソンを享受することです。信仰が、神によって、わたしたちに与えられたのは、それによって、わたしたちの命であるキリストを受けるためです。愛はそのようなすばらしい信仰の結果として生み出され、わたしたちの命であるキリストにある三一の神のあらゆる豊富をわたしたちが生かし出すことができるようにします——Ⅱペテロ1:1。ヘブル12:1-2前半。Ⅱコリント4:13。ガラテヤ5:6。ヨハネ1:12-13。21:15-17。コロサイ3:4。
3. わたしたちがまさに主イエスを信じた時に受けた命はパーソンであり、このパーソンを適用し享受する唯一の道は、最初の愛をもって彼を愛することによります。わたしたちの命である主イエスがパーソンであるので、わたしたちは彼と新たに接触して、今この瞬間に、また日ごとに彼の現在の臨在を享受する必要があります——ヨハネ11:25。14:5-6。Ⅰテモテ1:14。ヨハネ14:21, 23。Ⅱコリント5:14-15。啓2:4-7。コロサイ1:18後半。
4. わたしたちが彼を愛するとき、彼はご自身をわたしたちに現し、彼と御父はわたしたちの所へ来て、わたしたちと共に住まいを造ります(ヨハネ14:21, 23)。こういうわけで、わたしたちはこのように祈る必要があります、「主よ、わたしにあなたの愛を見せ、あなたの愛でわたしに押し迫ってください。それは、わたしがあなたを愛し、あなたに生きるためです。主よ、常に、あなたを愛し続けさせてください」。わたしたちは絶えず主に告げなければなりません、「主イエスよ、わたしはあなたを愛します。主よ、わたしをあなたの愛の中に保ってください！あなたご自身でわたしを魅了してください！常にわたしをあなたの愛する臨在の中に保ってください」(参照、雅1:1-4)。
5. ローマ人への手紙において、パウロはわたしたちに勘定される神の義のわざと、わたしたちの中へと造り込まれた彼の聖を注入することと、わたしたちの中へと、わたしたちを通して輝く彼の栄光を現すことを見せた後、わたしたちを神の心である彼の愛の中へともたらしめます——創2:8-9。3:24。ヘブル10:19-20。啓22:14。ローマ4:22-24。6:19, 22。8:18-19, 21。Ⅰコリント1:30。ローマ5:5。8:30-39。Ⅰヨハネ4:16-18。
6. 神はまずわたしたちを愛されました。すなわち、彼は愛であるご自身をわたしたちに注入して、わたしたちの内側に愛を生み出させ、それをもってわたしたちが彼とすべての兄弟たちを愛するようにさせます(8, 16, 19-21節)。こういうわけで、わたしたちに対する神の愛は彼に対するわたしたちの愛となり、またすべての兄弟に対するわたしたちの愛となります。

7. この事に基づいて、わたしたちは歌い、また祈ることができます、「わたしはわが主を愛します。ですが、わたしの愛をもってではありません。なぜなら、わたしには与えるものが何もないからです。主よ、わたしはあなたを愛します。ですが、すべての愛はあなたのもので。なぜなら、あなたの愛によって、わたしは生きるからです」(詩歌五四六番、一節、英文)。「あらゆる心は何かを愛します。イエスでなければ、だれも安息することができません。主よ、わたしの心はあなたに与えられています。それを受け取ってください。なぜなら、それはあなたを最も愛するからです」(詩歌五四七番、一節、英文)。

II. 今日、信者はエデンの園の縮図です。彼の霊には、命の木としての神がおり、彼の体には、知識の木としてのサタンがおり、その中間には、彼の思いがあります。わたしたちは霊の中にいるか、肉の中にいるか、どちらかです。わたしたちがいるべき第三の場所はありません——ローマ8:6:

A. ミングリングされた霊、すなわち、わたしたちの霊と共にあるその霊(16節、Iコリント6:17)によって生きるために、わたしたちは肉が何であるのかを見なければなりません:

1. 肉は、腐敗し、汚れ、変質した体です:

- a. 人の体は本来は純粹でしたが、人の墮落によって、サタンは自分自身を人の中に注入し、人の体は肉になりました——創3:6. ローマ7:18前半。
- b. わたしたちの体は「罪の体」(6:6)、また「この死の体」(7:24)です。罪の体は神に対して罪を犯すことで、とても活発で力に満ちています。この死の体は神を喜ばせることで、弱く無能です(18節)。
- c. わたしたちがまだ生きている限り、わたしたちの贖いの日まで、罪と死の体は常にわたしたちと共にあります——参照、8:23。
- d. 「肉」という言葉はまた、わたしたちの墮落した全存在を指しています。人は完全に肉です。なぜなら、墮落した人は今日、墮落した肉の管轄の下にあるからです——3:20. 創6:3前半. ピリピ3:3-8。

1. 肉は罪、死、サタンの「集会所」です。肉は絶望的な状態であり、決して改善されることはできません——ローマ7:17-18, 21. 参照、ヨハネ17:15:

- a. 肉は神に敵対しており、神の律法に服従せず、決して神を喜ばせることができません——ローマ8:7-8。
- b. 罪は、わたしたちの中の「邪悪な者」であるサタン自身です(ヨハネ17:15. ローマ7:21)。「邪悪な者」とは、サタン自身の邪悪な命、性質、性格です。彼はわたしたちの中に内住する罪です。罪がわたしたちの内側で休眠中のとき、それは単なる罪ですが、わたしたちが進んで善を行なおうとすることによって目覚めるとき、それは「邪悪な者」となります。
- c. 罪はわたしたちを欺き、殺し(11節)、わたしたちを支配し、すなわち、わたしたちの上に主権を持ち(6:12, 14)、わたしたちの意志に反して事を行なわせることができます(7:17, 20)。このすべての活動は、罪が生きたパーソンであることを見せています。

B. 神はご自身のエコノミーのために、彼の知恵と主権ある案配の中で、わたしたちの

罪深い、醜い肉を用いて、わたしたちを強いて霊に戻らせ、わたしたちにさらにその霊を得させて、わたしたちの中で神が成長することによって、神の建造へと至らせます——コロサイ2:19. ゼカリヤ4:6 :

1. 法理的に言えば、サタンもわたしたちの肉も、一度で永遠に十字架上で罪定めされました(ローマ8:3. ヨハネ3:14. ヘブル2:14. IIコリント5:21)。しかし神は肉をとどまらせて、わたしたちを助け、強いて霊の中のキリストに向かわせ、もはや肉に信頼しないようにさせます(ピリピ3:3)。
 2. 罪深く、醜い肉によって与えられる助けがなければ、わたしたちは真剣になって主を得ようとせず、主に内側に造り込んでいただくとしまいでしょう——ローマ7:24-25. 8:2, 6, 13。
 3. わたしたちの目標は聖、霊的であること、勝利であるかもしれませんが、神の目標はご自身をわたしたちの中に造り込んで、わたしたちを栄光化することです。しばしば、わたしたちは困難な状況にある時、さらに主に開き、さらに進んで主に向こうとし、さらに進んで主にご自身を内側に造り込んでいただくとしまい——28-29節. エペソ5:27。
 4. わたしたちが彼を追い求めるなら、罪深いものによって構成されている肉でさえ、主を得ることにおいて、わたしたちにとって救いとなります。わたしたちは多くの時失敗しているので、必死に霊に戻ろうとします。このようにして、わたしたちはさらにその霊を得ます——参照、出23:23, 29-30. 士師2:21—3:4。
 5. わたしたちの困難、敗北、失敗、失望は、肉に望みがないことを強いて認識させます。肉が良いのは、強いてわたしたちを霊の中のキリストに向かわせ、霊の中に押し入れ、霊に入ることで必死にならせ、霊の中にとどまることで目を覚まさせることだけです——マタイ26:41. エペソ6:17-18。
 6. 主はわたしたちが勝利を得るかどうか顧慮しません。主はただ一つのことだけを顧慮します。それは、わたしたちがその霊であるキリストを得ることです——ピリピ3:8. IIコリント3:17-18。
- C. わたしたちの霊はすばらしい複合、すなわち、キリスト、その霊、恵みが複合されたものです——IIテモテ4:22. ローマ8:16. ガラテヤ6:18 :
1. 神は、わたしたちがこのすばらしい複合の霊にしたがって歩く(わたしたちの存在、生活と、言い行なうすべてのことが、霊にしたがっている)ことを願っています——ローマ8:4. ピリピ1:19. Iコリント6:17. 参照、出30:23-25。
 2. 霊にしたがって歩く人だけが、地方召会の建造のための正しい肢体となることができます。もしわたしたちにそのような歩みがなければ、わたしたちは遅かれ早かれ、地方召会にとって問題となるでしょう——ガラテヤ5:16-26。
 3. ローマ人への手紙が啓示していることは、わたしたちであるすべて、わたしたちが行なうすべて、わたしたちが持っているすべてが、霊の中になければならないということです。わたしたちの中にあるものは何であれ、「内側」の、わたしたちの霊の中になく、「外見上」の、肉の中にあるなら、それは空虚です。神がわたしたちに対して何であるかのすべては、わたしたちの霊の中にあります——ローマ1:9. 7:6. 2:28-29. 8:4, 10, 13, 16. 12:11. ピリピ3:3. IIテモテ4:22。

4. わたしたちの霊は今日、真のベテル、神の家、天の門です。わたしたちは霊に戻るとき、第三の天、至聖所において、恵みの御座に触れ、キリストによって維持されて、地上で天の生活をします——エペソ2:22. 創28:12, 17, 19. ヘブル10:22前半. 4:16。
5. わたしたちは霊の中でこの世に打ち勝つことができ、邪悪な者はわたしたちに触れることができません。サタンに打ち勝つ唯一の道は、わたしたちの再生された霊という高い塔にとどまることです——Iヨハネ5:4, 18. ヨハネ3:6. 14:30。

III. ローマ書第5章で、わたしたちはアダムの中におり、第6章では、キリストの中におり、第7章では、肉の中におり、第8章では、霊の中にいます。第5章のアダムは第7章の肉の中で経験され、第6章のキリストは第8章の霊の中で経験されます：

- A. わたしたち、キリストにある信者はキリストの死を通してアダムから出て、彼の復活を通してキリストの中へと事実上、地位的に移動させられます——6:3-8：
 1. アダムの中で、わたしたちは罪を受け継ぎましたが、それはわたしたちを罪人に構成します（5:12前半, 19前半）。わたしたちは死を受け継ぎましたが、それは一方で、わたしたちを弱くして、神を喜ばせる事をできなくさせ、もう一方で、わたしたちを支配します（12後半, 14前半, 17節前半）。また、わたしたちは律法の下で死に至る罪定めを受け継ぎました（16節前半）。
 2. キリストの中で、わたしたちは命に至る恵みの中で、義と命と義認を伴う賜物を受けましたが、その中で、わたしたちは恵みをもって万物を支配します——17後半, 18後半, 21節。
- B. わたしたち、キリストにある信者はキリストと共に十字架につけられることを通して（6:6. ガラテヤ2:20）、肉（実行上での経験的なアダム）から、その霊と結合することによって（ローマ8:16前半. Iコリント6:17）、その霊（実行上での経験的なキリスト）の中へと、実行上、経験的に移動させられます：
 1. わたしたちは思いを命と平安に至るミングリングされた霊に付けなければなりません。また、わたしたちは律法の義なる要求を満たすために、肉にしたがってではなく、ミングリングされた霊にしたがって歩き、存在を持たなければなりません——ローマ8:4-6。
 2. わたしたちは、わたしたちの王であるキリストをわたしたちの存在の中心で御座に着いていただき、恵みの御座また栄光の御座とならせなければなりません——ヘブル4:16. イザヤ22:23. マタイ8:8-10. エゼキエル1:22, 26。
 3. これは、わたしたちが支配する臨在で満たされて、王たちとして御座に着き、満ちあふれる恵みと義の賜物を通して、恵みをもって命の中で支配するためです——ローマ5:17後半, 21. ヨハネ1:16。
- C. これら二つの神聖な移動の究極の結果は、栄光に満ちた、永遠の、団体的な、究極の完成である、新エルサレムです。それは、手順を経て、究極的に完成された三一の神と、手順を経て、究極的に完成された三部分からなる人との宇宙的な合併である、永遠の命の総合計です——啓21:3, 9-10, 22. 22:17前半。